

一般社団法人 学修評価・教育開発協議会
令和6年度 事業計画書

令和6年度は、遠隔会議システム等を用いて教職員及び学生が交流できる事業を進めるとともに、各会員校の教育改革に資する取り組みを行う。

1. 企画調整委員会関連

○ 国内留学事業および単位互換プログラム事業の実施

単位互換協定に基づき、会員校間の学生交流を推進し、地域を越えた連携によって学生の学びがより深いものになるよう、以下のプログラムを実施する。

① 国内留学事業の実施（前期／後期）

実施予定：関西国際大学、共愛学園前橋国際大学、富山国際大学、宮崎国際大学、札幌国際大学、創価大学

② 会員校への科目開放（対面）

（予定科目）

- ・防災士養成講座（関西国際大学）
- ・国内のグローバルスタディー（関西国際大学）

※変更可能性あり

③ 令和6年度からの連携開設科目の開設

令和6年度から、北陸学院大学、札幌国際大学、創価大学を除く4校で連携開設科目を開設する。

（開講科目）

- ・観光概論（共愛学園前橋国際大学）
- ・キリスト教と多文化社会（共愛学園前橋国際大学）
- ・ジェンダー論（富山国際大学）
- ・コミュニティ防災（関西国際大学）
- ・データサイエンス（関西国際大学）
- ・多国言語と文化（宮崎国際大学）

○ オフキャンパス報告会の実施（継続）

オフキャンパスの経験と成果、課題について学生の代表による報告とともに意見交換を行う。これまでのテーマ：「グローバル」（平成30年度）、「社会貢献と地域連携」（令和元年度）、「社会貢献と地域連携」（令和5年度）

学生同士で話ができるようプログラムを検討する。（土曜日もしくは休業中（期末試験後すぐ）の午前中が報告会＋午後から懇談会など）

実施時期（予定）：令和6年12月～2月の間

○ 共同 FD/SD の実施

会員校に共通する専門分野に係る FD、専門性の高い教職員養成に係る SD を共同で企画し実施する。

① データサイエンス教育に関する FD

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）も始まり、各大学ではデータサイエンス教育の充実を図っている。そこで、データサイエンス担当教員に求められる知識・スキルについて先行している大学から学ぶ。

② 海外プログラムに関する FD

各会員校では短期あるいは長期の留学プログラムを、ICT を活用するなどの工夫をしながら実施されている。各校の取組について事例を共有する。

③ オンラインを活用した教育方法に関する FD

コロナ禍で培ったオンラインやオンデマンドを利用した教育効果の高い実践例など教育 DX の状況を共有する。特に、連携開設科目の開設に向けてオンデマンド教材作成に関する研修を行う。

④ 要配慮学生への対応

LGBTQ+、障がい者、学力低位など、学生の多様化が進んでいる。このような学生への対応として、教職員の知識スキルのアップをどうやるか、大学内及び併設校との情報共有をどのように行うのかなど、いくつかのテーマに分けて各会員校の取り組みについて共有を行う。

テーマ案

- ・障がい者への対応
- ・学力低位学生への支援（リテンション、卒論）

⑤ 留学生確保

コロナ禍により、留学生がいったん減少したが、受け入れを増やす大学が増加しつつある。留学生確保のためにどのような取り組みを行っているか、また、留学生のための支援としてどのようなことが必要かについて共有を行う。

⑥ 部署別 SD

大学ガバナンス改革の動向、教学マネジメント、大学設置基準等の改正への対応、人材育成、業務改善、入試改革など、部署別のニーズに合わせた共同 SD を実施する。

2. IR 研究委員会関連

○ 言語的思考力テストの共同実施

入学時に大学で学ぶために必要な言語運用力と数理分析力を診断するテストの実施。実施大学には、学生個人及び学科ごとのフィードバックあり（オプション）。

○ IR 研修会の実施

会員校の IR の取組を強化するため、各大学での IR や評価に関する先進的な取組について講演していただく。特に、IR データの学修支援や学生支援への活用など、様々な活用方法や個人情報の取り扱いへの対応について学ぶ。

実施時期（予定）：令和 6 年 8 月、令和 7 年 3 月

3. その他

- ・理事会の開催（令和 6 年 5 月 16 日、令和 6 年 6 月 20 日、令和 7 年 3 月 予定）
- ・社員総会の開催（令和 6 年 6 月 20 日）
- ・各種委員会の開催
- ・各会員校で行う講演会・FD 研修会について希望に応じて配信する。
- ・新規会員校の募集
- ・情報発信

以 上